

森と緑の会だより

春号
2025



【表紙写真】

「こうち山の日ボランティアネットワーク」の交流会

2月15日(土)、加入団体など32名が参加し交流会を行いました。午前は竹の活用をテーマに竹炭づくりなどのワークショップ、午後は活動発表や意見交換を行い、森林保全ボランティア活動の活性化のための有意義な交流会になりました。ネットワークでは新たな加入団体を募集しています！

特集 次世代を担うリーダーたち

～この手で創ろう緑の輪～

私たちは緑の少年団活動を支援します！

緑の少年団活動をご存じですか？

緑の少年団は、次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体です。活動の主体となるのは、学校に通う児童・生徒でサポートする保護者やボランティア、地域グループ、子ども会、学校の先生などで構成されています。

緑の少年団の3つの活動

● 学習活動

団員の年齢などに応じて展開されており、緑や森林の働きの学習、緑を守る学習、自然のなかの鳥獣・昆虫などの観察・愛護の学習などから、緑や森林を守ることの大切さを学んでいきます。



● 地域貢献活動

汗を流すことの尊さ、社会の一員としての自覚を養うために大切な活動です。地域の状況、団員の構成などにより自主的な活動として、緑



の羽根募金運動への協力、緑化行事への参加、公園・緑地帯の清掃、パトロール、標示板の設置や取り換えなどがあげられています。

● レクリエーション活動

ハイキングやキャンプなどが一般に行われていますが、団員たちにとって最も楽しい時間です。

明るい笑顔、はつらつとした姿にも集団活動を通して培われた団結と協調の精神が伺えます。



活動推進の歴史

昭和35年、当会の全国組織である国土緑化推進委員会（現 国土緑化推進機構）が「グリーン・スカウト」の名称で緑化を実践する少年団の結成を呼びかけ、各地で緑の少年団が誕生しました。昭和44年、秋田県から「緑の少年団の結成について」の提案があり、それ以後各県で緑の少年団が結成され団数も増加しました。昭和49年、第25回全国植樹祭（岩手県）に緑の少年団が参加し、全国的に注目を集め、全国各地で緑の少年団の結成に拍車がかかりました。

緑の少年団の成長に伴い、昭和50年代になって「都道府県連盟」の組織化が始まりました。平成元年には、「みどりの日」

の制定を機に少年団相互の連携強化を図ることを目的として「全国緑の少年団連盟」が結成されました。その後、団数も増加し令和7年1月現在で、47都道府県、2,994団体、312,373人となっています。

第29回全国植樹祭の

開催を契機に結成

本県においては、昭和53年5月に本県で開催された第29回全国植樹祭を契機に高知県子ども会連合会緑の少年団が結成されました。

現在の香美市土佐山田町にある県立甫喜ヶ峰森林公園において、天皇陛下をお迎えし、「防災も緑できずくふるさとづくり」を大会テーマに開催された全国植樹祭の式典において、緑の少年団は、誓いの言葉や大会旗引継などの主要な役割を担いました。

それ以降、緑の少年団大会での交流活動や春と秋の緑の募金街頭募金など本県の緑化推進活動に大いに貢献しています。



令和6年度高知県緑の少年団大会の風景

高知県の森林率は日本一

本県は、全国第一位の森林率84%を誇る森林県です。森林は、水源涵養、国土の保全、環境教育や健康づくりの場の提供など、私たちの安心・安全な暮らしを支える様々な役割を担っています。

森林を守り育てることは私たちの暮らしを守ることに繋がります。この貴重な県民共有の財産を守り育てていくことは私

たちの責務であり、木や森林を慈しみ、「木の文化」を身につけた次代の森林づくりを担う子どもたちを育成していく必要があります。

活動の輪を広げて

～未来に繋ぐ高知の緑～

令和9年に、本県の緑の少年団は結成50年の節目の年を迎えます。また、翌年の令和10年春季には、半世紀ぶりに本県で第78回全国植樹祭が開催されることが内定しています。当会では、第78回全国植樹祭の開催と緑の少年団結成50周年に向けて、高知県緑の少年団連合会の体制強化を図っていきます。

そして、様々な企業や団体、行政とパートナーシップを組み、子どもたちの森と緑を育て、守る活動を支援し、地域の身近な森林を活用した活動や森林環境学習などを県下に広げていきます。さらに、より多くの子どもたちに参加を募り、将来に向かって緑の少年団活動の輪をさらに広げていきます。

緑の少年団活動にご賛同いただき多くの皆様のご支援ご協力ををお願いいたします。



緑の少年団のつくり方

- 団員を募集して名称をつけましょう
- 団の決まりをつくりましょう
- 高知県緑の少年団連合会に登録しましょう
(各種支援制度が利用できます)

※詳細については、高知県森と緑の会事務局までお問い合わせください。

TEL 088-855-3905

E-mail info@moritomidori.com



緑の広がりで地域を元気に！

緑の募金

「緑の募金」による植樹活動

毎年秋に募集する苗木支援や交付金、当会支部が実施する植樹事業等で、令和6年度は県内94カ所に2,517本の苗木が植樹されました。



1月18日（土）

高知県立春野総合運動公園

高知北ライオンズクラブ、こうち森林救援隊、高知県スポーツ振興財団で、第2駐車場歩道沿いにヒトツバタゴ5本を植樹しました。



11月29日（金）

香美市支部 体験林業学習

香美森林組合の協力で、片地小学校1、2年生27名が香美市香北町の民有林にヒノキの苗木90本を植樹しました。



3月15日（土）

クラインガルテンもとやま

地域活性化および景観整備のために、ハナモモ10本、ソメイヨシノ10本、モクレン10本を植樹しました。



令和6年度は、5月18日（土）にはりまや橋商店街、9月29日（日）に土佐市複合文化施設つなーで、10月26日（土）にサニーアクシスいの店、12月22日（日）に香美市立図書館かみーるの4か所でこうち木育ひろばを開催しました。木工ワークショップでは、はりまや橋はのべ85名、土佐市はのべ289名、サニーアクシスはのべ101名、香美市はのべ238名、合計713名とたくさんの方々に参加していただきました。

今年度はこうち木育ひろばを開催するにあたり、開催地域の土佐市、香美市を中心に団体、企業へイベントの協賛を呼びかけました。土佐市では34の企業や団体、個人から、香美市では32の企業から「緑の募金」の寄付や景品の提供などのご支援をいただきました。

このご支援により円滑なイベントの運営ができ、多くの参加者に楽しんでいただけた木育ひろばになりました。この場をお借りして協賛をいただいた皆様に心より御礼申し上げます。



土佐市複合文化施設つなーで
おもちゃひろば会場の風景



香美市立図書館かみーる
おもちゃひろば会場の風景

さ、(株)大熊、大東陸運(株)、(株)天將土木、土佐共同産業(株)、土佐市観光(有)、(有)土佐通信、(株)土佐電子、(有)土佐土建、(株)土佐農機、(有)戸田商行、龍食堂、(有)ハシダ電業、(株)ひなた土佐営業所、(株)響建設、ふなと林業、(株)モリサ、森澤正博、ユニチ防災高知営業所（五十音順）

●香美市協賛企業一覧

(有)青木左官工業、(株)アドミツキサービス、(有)五百蔵、(有)池田モータース、(有)かがみ建設、(有)香北観光、(有)香北自動車工業、黒岩工業(株)、(有)コウチ住宅資材センター、さくらベーカリー、(有)佐々木建設、(株)サンテクノ、(株)サント企画、(有)大地と自然の恵み、(株)ダイヤモンド観光ビジネス、(有)武政建設、(株)テラムラ、(株)なかよしライブラリー、(有)西野建設、(有)野々下農機商会、(有)ハチロー染工場、富士源刃物製作所、(有)平和ハイヤー、穂岐山刃物(株)、(株)三谷ミート、(有)宮村鉄工、(有)山中組、(有)祐設備、依光瓦工業(有)、(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、匿名1企業（五十音順）

はりまや橋商店街、サニーアクシスいの店では、(株)響建設のご後援を賜りました。ありがとうございました！

●土佐市協賛企業、団体、個人一覧

(有)池一菜果園、(有)池田電機店、(有)石元組、(株)植田ファーム、ウッドスタイル(株)、海治自動車整備工場、(有)尾崎建設興業、亀泉酒造(株)、(有)カリヤテント、元気クラブ、三昭紙業(株)、(株)サンプラザ、三和製紙(株)、(株)島田屋土佐店、(有)靖コンサルタント、(特非)総合クラブと



こうち山の日推進事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

豊かな森林と山を守り育て、次代へと引き継いでいくため、「こうち山の日（11月11日）」の制定趣旨に沿った普及啓発に取り組む活動を支援しています。令和6年度は28事業が実施され、のべ6,913名が参加しました。

日本防災植物協会の取り組み

秋の防災植物教室「野山の実りを楽しもう」

12月1日（日）、四万十市にて、災害時や食料難の際に安全に食べられる防災植物について学ぶ教室を開催し、25名が参加しました。

事前に採集したシイやカシなどのどんぐり、イヌビワなどの果実、カキドオシなどの草本類の実物を見ながら、種類や特徴、活用方法や効能などを教わりました。



その後、野山を散策し、説明を受けながら野草を採取したり、実際に口にしながら食べられる野草を確認しました。身近に生えている野草が食べられると知り、参加者は

さらに関心を持って採取を楽しみ、子どもたちも甘い冬いちごを夢中になって探していました。そして、パッククッキングで炊いたむかごご飯や炒った銀杏やシイなどの秋の実りを味わいました。

木の実や山野草には栄養が豊富に含まれており、防災植物を知っていれば日常生活にも活かせて、災害時には命をつなぐ助けとなります。

普段食べ慣れていないものを突然口にするのは難しいので、日頃から慣れ親しんでおくことや見た目が似ている有毒植物の違いを見分けられる知識を身につけておくことが大切だと学びました。

山の学習支援事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

高知県の豊かな森林環境について学び、体験する森林環境学習を支援しています。令和6年度は89校7,003名の子どもたちが学習しました。

山の恵みと昔の暮らしに触れる体験学習の紹介

1月23日（木）、高知市立十津小学校3年生40名が高知県立青少年センターと高知県立森林研修センターで山の恵みを活かした昔の暮らしについて学びました。

高知県立青少年センターの囲炉裏端体験コーナーには、冷蔵庫、せいろ、めしかご、うす、きねなど木や竹などで作られた

昔の道具が多数展示されています。児童らは、「昔の暮らし体験教室」で初めて見る



道具に興味津々の様子でした。各自で持ってきたハンカチなどを洗濯板で洗い、「水が冷たい。」「時間がかかる。」など現代の洗濯機と比べると苦労することを体感しました。また、水が節約できるなど洗濯板の良い点についても意見を出し合いました。

高知県立森林研修センターでは、森林散策とアスレチック体験をしました。講師が敷地内に生育している木や植物を紹介し、児童らは匂いを嗅いだり触れたりして、木の実や葉の様子、木肌などの特徴を観察しました。昔は葉書として使われた「タラヨウ」の葉の裏に爪楊枝で文字や絵を書く体験もしました。



この学習は小学3年生の社会科と関連づけて実施され、事前学習を行った後、実際に木製の道具に触れ、自然の中での体験活動を行うことにより、森林資源の活用と昔の人の知恵や工夫について学びを深めることができました。

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

林野庁の国庫金事業

地域住民や森林所有者らが協力して行う里山林の保全、森林資源の利活用などの取り組みを支援しています。令和6年度は31団体が県内各地で活動を行いました。

萩中新改の会（中土佐町）の取り組み

中土佐町大野見萩中、下ル川は山深い場所にある山林に囲まれた里です。高齢化により住民から山の手入れが出来ないとの声があがつたことから、平成28年度に活動組織「萩中新改の会」を地域住民10名で設立し、農作業と山の仕事を兼業しながら里山の整備を進めてきました。

設立当初はスギ・ヒノキ植林の下草刈り、枯損木の除去や侵入竹の除伐などを行ってきました。平成30年度には緑の募金の苗木支援を受け、地域住民とともに川沿いに桜を植樹しました。以降毎年2~3回草刈りを行うことで立派に育った桜並木は500mも続き、住民は春に咲く桜を楽しみに待つようになりました。

最近では、活動の趣旨が地域に浸透し、住民からの依頼で下草刈りや間伐、運搬車を使って搬出なども行っています。搬出し

た材で薪を作り、構成員や地域住民へ配布したり、周辺施設へ販売したりしています。この地域では薪ストーブを利用する人が増え、他に暖炉、風呂、茶窯などにも利用しています。

Uターンの若者がメンバーに加わるなど新たな体制で今後も活動を継続し、元気で明るい地域づくりにつなげていきます。



間伐した木を130cmほどの長さに玉切りにして、搬出します。



小屋で薪割機を使って薪割りをしています。



緑の募金にご協力ありがとうございました！

令和6年（令和6年1月1日～令和6年12月31日）募金額

10,462,249 円

皆さまからの募金は、地域の緑化や県内各地の森林整備等に役立てられています。

令和6年度緑の募金感謝状贈呈

毎年、一定額以上の寄付をいただいた方や募金活動に協力いただいた方に感謝状を贈呈しています。

国土緑化推進機構理事長 感謝状

- ・株式会社よどや

高知県知事 感謝状

- ・株式会社建設マネジメント四国
- ・佐賀町林業研究会

高知県森と緑の会理事長 感謝状

- ・株式会社響建設
- ・ダイドードリンコ株式会社
- ・株式会社土佐山田ショッピングセンター
- ・株式会社西森建設
- ・西岡養鰻株式会社
- ・株式会社丸三建設
- ・株式会社不二土木

- ・有限会社丸重建設
- ・黒潮観光開発株式会社
- ・四国開発株式会社
- ・株式会社サニーマート
- ・株式会社サンシャインチェーン本部
- ・株式会社ウイル

春の緑の募金キャンペーン



3/1から5/31は春の緑の募金強化期間です。

緑の募金にご協力をお願いします！



4/18（金）から4/20（日）に第53回みどりの週間行事を東洋電化中央公園で開催。毎年恒例の緑の募金チャリティコンサートやよさこい鳴子踊りも披露され、多くの参加者が楽しみました。また、街頭募金活動では緑の少年団の子どもたちが元気に募金を呼びかけ、多くの方に募金にご協力いただきました。



● 緑の募金グッズ

一定額以上の緑の募金でご希望の方にオリジナルグッズをプレゼント！

木製バッジ（8種類）：500円以上

マルシェバッグ（2種類）：1,000円以上

ランチバッグ（4種類）：1,000円以上

山歩き手拭い（3種類）：2,000円以上

※詳しくは、当会ホームページの「緑の募金グッズのご案内」ページをご覧ください。

公益社団法人高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市桟橋通6-7-43 総合保健協会合同庁舎5階

電話番号 088-855-3905 FAX番号 088-855-3906

E-mail : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

発行

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします >

